

[概要版]

「第2次名張市ばりばり食育推進計画」の推進状況について

第2次名張市ばりばり食育推進計画に係る

「令和7年度の取組」及び「令和8年度の計画」について



名張市

朝食リーフレットの活用

●令和7年2月に市内全小中学生に配付した、朝食リーフレット「朝ごはんを食べるといいことたくさん！」を参考にして、朝ごはんのはたらきやバランスの良い朝食を考える食育の授業を行いました。さらに、各学校の食育だよりで朝ごはんの大切さを伝えるとともに、家庭でも活用できるよう、朝食リーフレットの二次元コードを参考に掲載するなど、保護者啓発にも努めました。

2月食育だより

皆合が丘小学校
2026年 2月号



給食委員会がにこにこ集会で「朝ごはん」の大切さを伝えました。

1月20日の2限目に、「にこにこ集会」で、給食委員会が「朝ごはん」の大切さについて発表しました。朝ごはんを食べると、「元気になる」「リズムが整う」「イライラしない」の3つのメリットがあることを、手作りのフリップで全校児童に伝えました。

朝食は、1日を過ごすための大切なエネルギーです。昨年度、ご家庭に配布いたしました名張市教育委員会作成の「朝ごはんリーフレット」も参考に、ご家庭でも、朝ごはんを食べる習慣をお願いします。

名張市公認キャラクター なばりん



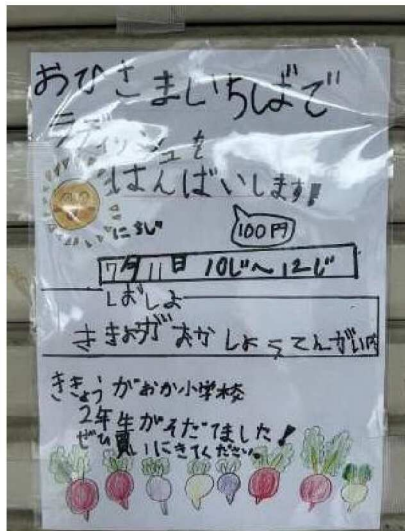
給食委員会の発表の様子



学校教育室

育てて売って家族で食べる！地域のお店で体験学習

- 桔梗が丘小学校の2年生が校庭で野菜を栽培し、桔梗が丘商店街にある「おひさま市場」で収穫物を販売しました。年度末には売上金を活用し、「おひさま市場」で買い物体験を実施しました。事前に栄養教諭から冬野菜の知識を学び、予算を考慮しながら野菜を選びました。この一連の体験を通じて食への関心を高めることができました。
- 実体験を通じた食育により、普段野菜を避けていた児童も、自ら育てた野菜を意欲的に食べるようになるなど、子どもたちの食生活に大きな変化が見られました。



給食におけるタネ菜の導入

- 名張市が進めている有機農業産地づくり推進事業で、環境に配慮した栽培方法で作られた「タネ菜」を学校給食で使用しました。給食の時間には、「タネ菜クイズ」で伝統野菜について学びました。
- 児童からは、「初めて食べたけど、おいしかった」という声が多く聞かれました。



ペンネ和風ソテー

この中でタネ菜は
どれでしょう？

①



②



③



教育総務室

食育講座「おうちで食べたいおいしい給食」

● 保育所で子どもたちに人気のある給食メニューを家庭でも作りやすいレシピとして紹介する食育講座を開催しました。給食メニューの調理のポイントや栄養について学び、親子で食を楽しむきっかけづくりや、子育て家庭の食事づくりの支援につながる取組を行いました。託児付きで15人の保護者が参加しました。

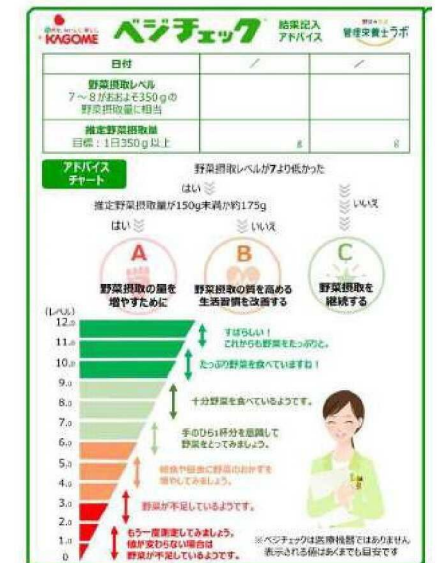


保育幼稚園室
こども支援センターかがやき

地域で野菜摂取量測定会

●明治安田生命、日本生命の協力のもと、地域のイベント等で野菜摂取量測定会を5回実施しました。

簡単に野菜摂取量が測定ができる機器「ベジチェック」で測定を行い、その結果をもとに食生活を見直すきっかけづくりとしました。



健康・子育て支援室

人生100年健康チェックで歯っぴーライフ ～共食の場～

- 後期高齢者健診を受診した、75歳以上85歳未満の方でオーラルフレイルのリスクがある方を対象に「人生100年健康チェックで歯っぴーライフ」を開催しました。
歯科指導を行うと共に、コープみえによる宅配弁当の試食を行い、共食の場を提供しました。

人生100年



引換券
R79.25

健康チェックで歯っぴーライフ

要予約

★全2回

第1回

2025年 9月 25日(木) 10:00~12:00

【内容】

- ☒ 歯のお話、歯科衛生士による個別相談
- ☒ バタカウ測定（口舌の筋力測定）
- ☒ 咀嚼ガム（噛む力の測定）

【場所】

名張市役所 1階大会議室



最後に、コープみえの夕食宅配の
試食があります！！

第2回

2025年 12月 18日(木)
10:00~12:00の間で、1人2分程度

【内容】

再度バタカウ測定、咀嚼ガム測定を行い、3か月後の
お口の状態の変化をみます

お申込み・問い合わせ

名張市役所 健康・子育て課室へ
お電話にてお申込みください！

☎ 0595-63-6970 （平日9:00~16:30）

申込期限 9月 5日(金) 定員30名（先着）

付き添いの方も参加される場合は、予約時にお申し出ください。

申込者規定

プチプレゼントをご用意しています♪

※引換券を切り取り、当日お持ちください

歯ブラシ・吹き戻しトレーニングなど



この券は23年12月31日使用有効期限を要し、指定日・指定回・方法に従って使用します。



健康・子育て支援室

栄養教室

●食ボランティアを養成する栄養教室を開催しました。生活習慣病や食育についての講義、調理実習等を行い、食生活改善のための知識や技術を習得しました。14人が修了し、新たに5人が「名張市食生活改善推進協議会」「名張市ボランティア楽食会」のいずれかに入会し、食ボランティアとしての活動を始めることになりました。



健康・子育て支援室

IGAGREEN（イガグリーン）

- 令和7年12月に、「オーガニックビレッジ宣言」を共同で行った名張市と伊賀市で、伊賀地域で環境負荷低減に取り組み、生産された農産物のブランド化に向けて、伊賀広域農産物ブランド登録制度「IGAGREEN」を立ち上げました。
- ・IGAGREEN登録者数(R7.3月末時点) 5件



協定締結式



農林資源室

とれたて名張交流館での対面販売

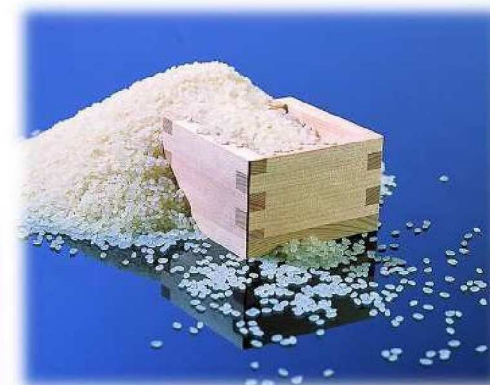
●まちの駅「とれたて名張交流館」において、市民及び来館者との交流機会の一環として、会員による地元農産物等の対面販売を実施し、農産物等のPRを行いました。



商工経済室

大阪・関西万博でのPR

- 大阪・関西万博(2025年4月13日～10月13日)において、名張物産の販売及びPRを実施しました。かたやきの実演販売や伊賀産コシヒカリの販売を行い、多くの来場者に対して本市特産品の魅力発信を行いました。



商工経済室

名張市特産タネ菜の勉強会

●名張市特産タネ菜の学校給食への導入に先立ち、栄養教諭等6名のみなさんを対象にタネ菜についての勉強会を開催しました。

よく管理された有機JAS認証を受けた畑に育つタネ菜の前で、自家採種によってタネ菜を長年保存して栽培を続けてこられた農家さんが、タネ菜の歴史や生育の特徴などの説明を行い、タネ菜について学ぶ機会としました。



農林資源室

目標値

項目		策定時 (平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	参考	目標値 (令和8年度)
①	朝食を毎日食べている児童の割合（小学6年生対象） 「全国学力・学習状況調査」朝食を「毎日食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した割合	93.3%	95.3%	92.5%	95.4%	95.0%	95.1%	91.9%	91.3%	92.9% (R7.三重県)	97.0%
	朝食を毎日食べている生徒の割合（中学3年生対象） 「全国学力・学習状況調査」朝食を「毎日食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した割合	92.0%	96.1%	91.8%	93.0%	92.0%	92.1%	93.3%	92.3%	91.9% (R7.三重県)	97.0%
②	学校給食における名産産食材を使用する割合 「学校給食における地場産物活用状況調査」食材数ベース	20.8%	23.7%	23.7%	23.3%	20.2%	23.3%	14.8%	20.3%		30.0%
③	児童生徒の肥満傾向児の割合 「学校健康状態調査」肥満度20%以上の児童生徒の割合	7.9%	8.4%	8.7%	8.9%	9.7%	9.4%	9.2%	9.8%	9.5% (R7.三重県)	6.0%
④	40歳以上の肥満者の割合 名張市国民健康保険被保険者のうち40歳以上75歳未満の人が特定健康診査を受診しBMIが25%以上の人の割合	26.2%	27.6%	28.1%	29.3%	27.5%	27.2%	28.1%	28.7%	27.5% (R7.三重県)	20.0%
⑤	特定健康診査受診率（国民健康保険） 【データヘルス計画】名張市国民健康保険被保険者のうち40歳以上75歳未満の人が特定健康診査を受診した割合	42.4%	43.1%	43.4%	44.1%	44.2%	43.3%	44.0%	43.9% (速報値)	46.7% (R6.三重県)	60.0%
⑥	健康な暮らしを送っていると感じている市民の割合 【市民意識調査】	77.8%	81.6%	81.5%	81.7%	82.0%	80.0%	81.1%	83.3%		83.0% ※（令和4年度）
⑦	名張の農産物（米・果樹・野菜等）の消費量や知名度が高まっていると感じる市民の割合 【市民意識調査】	46.6%	42.4%	43.8%	42.1%	43.3%	42.1%	36.6%	35.6%	—	—
	参考） 名張市の農産物を消費している市民の割合（地産地消の割合）					68.1%	66.3%	62.0%	60.3%		73.8% ※（令和8年度）

令和8年度の取り組み



朝食

健やかな心と体を育む
生活習慣の形成

多様な関係者の連携・協働

積極的な情報提供

トモシヨク 共食

豊かな食生活を
送るための望ましい
食習慣の定着

地産地消

地産地消の取組

共食とは、一人ではなく、家族や友人など誰かと共に食事をする事。
トモシヨクとは、共食の意味を込めながら、仕事と生活の調和の実現を推進すること。